

東京都立大江戸高等学校 平成28年度 理科 年間授業計画

1. 科目名 化学基礎 2. 講座名(単位数) 化学基礎(2単位)

3. 教科担当者

4. 使用教科書・教材 『高校化学基礎』(実教出版)

5. 授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	第1章「物質の構成」 ○1節 物質の探究	○周期表(1~20番)を暗記させる	○評価は以下の点で行います。 ①出席をすること。 ②授業中は、必ずノートをとる。 ③プリントなどの提出物を必ず出すこと。 ④実験の時の取り組みや実験や実験結果の意味を理解する。 ⑤定期考査での理解度を計る。	4
	5		○混合物、純物質、単体、元素の概念を理解させる。 ○混合物と純物質の性質を理解させる。		8
	6	○2節 物質の構成粒子	○原子の構造について理解させる。 ○各生徒の学習の理解度を確かめる。		8
	7	第2章「物質と化学結合」	○電子殻や電子の配列について暗記させる。		6
2 学期	9	○1節 物質と化学結合 ○2節 物質の利用	○イオン結合・共有結合・金属結合の違いを通して化学結合への理解を深める	20%「学習の意欲・関心・態度」 15%「実験の操作・結果・考察力」 15%「ノート・提出物」 50%「知識・理解」	8
	10	第3章「物質の利用」	○原子量、分子量、式量、モルの概念を確実にさせる。		6
	11	○1節 物質と化学反応式	○気体の体積・質量・分子量の関係を理解させる。モル濃度の概念は確実に理解させる。		8
	12		○化学反応やイオン反応は、物質中の原子の組み替えにより起こることを理解させる。 ○化学反応を化学反応式で表すことを理解させる。また、係数の合わせ方を理解させる。		6
3 学期	1	○2節 酸と塩基	○酸塩基の強弱と価数を覚えさせる。 ○pHの求め方を学習させる。 ○中和公式の計算方法を学ぶ。	◎指導の重点については、考査や提出物の内容だけでなく、理解が困難な場合であっても理解しようと努力する姿勢を評価します。	6
	2	○3節 酸化還元反応	○酸化数を用いて酸化剤還元剤の求め方を学ぶ。		6
	3		○金属のイオン化列を覚えさせる。 ○電池の構造を学ぶ。		4
予定時数計					70